

「ふるさとウォーク」で 藤樹先生を学ぶ(湖西中学校)

湖西中学校では、恒例になった一年生の「ふるさとウォーク」が実施され、その中で藤樹先生について学びました。その概要と事後のまとめ(ふるさと新聞)を紹介します。

■概要Ⅱ『湖西の風』(学校だより)から引用させていただきます。

一年生が、十一月一日(水)にふるさと高島の史跡や、中江藤樹のゆかりの場所を訪ねながら、歴史や偉人について理解を深める「ふるさとウォーク」を行いました。

学級ごとに分かれ、高島びれっじ一号館でキャンドルづくりを体験しました。【びれっじ周辺は、以前は、蠟燭町と呼ばれていたようです。】

そして、大溝の水辺景観まちづくり協議会の仁賀定夫さんから乙女が



藤樹書院で上田藤市郎先生のお話を聞く

池周辺の歴史について、学年主任の橋本先生から、大溝城の歴史を学びました。そして、高島市歴史民俗資料館学芸員の白井忠雄さんからは、鴨稻

荷山古墳にまつわるお話を聞きました。また、藤樹書院や藤樹記念館で藤樹先生のことを学びました。講話や体験により子どもたちは充実した時間を過ごすことができました。

当日は、秋晴れのすがすがしい天気に恵まれ、全員が仲間と励まし合いながら、踏破することができました。むくげの花の会の皆さんには、いっしょに歩いていただきながら、子どもたちの交通指導でも大変お世話になりました。

そして、学校に到着した時には、アツアツの焼き芋を準備してくださり、とてもおいしくいただきました。



藤樹記念館で武田基裕先生のお話を聞く

ご協力いただいた皆さん、本当にありがとうございました。

中学生の事後のまとめ

(「ふるさと新聞」から抜粋)

「中江藤樹先生」

廣田 華瑩

中江藤樹先生は、江戸時代初期の儒学者で「日本の陽明学の祖」と言われています。中江藤樹先生(別名

よえもん)の代表的な教えは、致良知、孝行、知行合一、五事を正す(貌・言・視・聴・思)などです。

中江藤樹先生は勉強にはげみ、有名になった二十七歳の時に家に帰って来ました。その理由は「母に孝行をするため」という大変優しい人でした。藤樹先生のような人への思いやり、優しさを大切にしたいと思います。

「中江藤樹」

城戸 有紗

中江藤樹先生は四一五年前の一六〇八年に生まれました。本名は原(げん)。通称よえもんと呼ばれていました。滋賀県に住んでいたが、鳥取から愛媛に行き、おじいさんに育てられました。十歳のころに中国の本『大学』を読み、「人はだれでも自分の行いを正しくすることが一番大切である」ということを知り、よく勉強しようと思ったのです。二十七歳の時、滋賀県に戻ってきて、村の人々に熱心に正しく生きることや伝え、多くの人に慕われ尊敬されたのです。私も藤樹先生のように、しっかりと勉強しようと思います。

「近江聖人 中江藤樹！」

「四つの教え」

高木 彩子

高島市で有名な中江藤樹先生……私はその素顔を初めて知りま

した。藤樹先生は主に四つの教えを残しています。致良知、孝行、知行合一、五事を正す、です。私は話を聞いている中で、『孝行』に興味を持ちました。藤樹先生は、九歳の頃鳥取の米子へ、十歳で学問に励むため愛媛の大洲へと、色々な所へ行き、多くの人にお世話になりました。そして、育ててくれた母にも、何か孝行をするため、『周りの人を皆大切に』という言葉を使いました。私はこの言葉を聞いたとき、自分は何もできていない、だから、これからは、家族にできることをしようと思いました。

この日の感想

ふるさとウォークを通して、高島市の歴史について知れたし、十三キロメートル歩いたり、キャンドルを作ったりする貴重な体験もできました。この体験を経験へと変え、もっと高島市のことについて知り、多くの人へ伝えていきたいです。本当に楽しかったです！



大溝城跡で橋本先生のお話を聞く